

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド
実績報告書(事業助成用)

平成18年10月31日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者
三菱UFJ信託銀行株式会社 あて

住 所:〒 509-7205
岐阜県恵那市長島町久須見1305-4

法人(団体)名:
NPO法人 地球を化学技術で守る会

印

代表者名: 町野 邦文

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成 17 年度(前期・**後期**)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

エマルジョン燃料普及事業

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
----------	-----------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	4874千円
実績額	4874千円
差し引き額	0千円

4. 事業実施期間

平成17年10月 1日 ~ 平成18年 8月31日 (年11か月間)

5 . 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況（実施日時、場所(住所)、対象者、参加者等）

- ・ 平成18年8月より普及用エマルジョン燃料のプラント製造に取り掛かる。
- ・ ユニ石油、アスカテックなど新規導入先獲得のため普及活動開始
- ・ デモンストレーション・レンタル用エマルジョンプラントでは静岡精機(株)、アースデイ愛知2006、アスカテック(株)、ヒラカワガイダム、栗木運輸(株)にて使用し普及に努めおり、これから一層の力を注いで普及に取り組む。
- ・ また、導入企業でのエマルジョンプラントの見学会や会独自の企画にてエネルギー（エマルジョン燃料）について考える場を持った。

(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

具体的な活動として、(展示会・デモンストレーション活動など)

11月 岐阜県可児市にある会社にて導入プラントの説明会（30名程参加）

12月 エコプロダクツ 2005 に出展 場所:東京ビッグサイト

この時に、日本農業新聞 に掲載され(2006年1月9日)全国の農業関係者から問い合わせがあった。また、農家の問題は原油高による物は明らかで、特にハウス栽培などされている方々は危機的状況の中で少しでも安い燃料に関心があることが分かった。

12月～1月

岐阜県中津川にて農業用ハウス専用ボイラーにて温度、燃費データを蓄積

2月～3月 普及のための企業へのアプローチ、可児市にある導入プラントの改良

4月 アースデイ愛知 2006 にてエマルジョン燃料を発電機に使用してもらう、この催事にて会場の展示ブースの電力として使っていただいた。また、この時の燃料は軽油が70%廃食油が10%水が20%の混合でおこなった。

5月 様々な業種の方の注目をいただけるようになる。丁度その時に、2006年5月11日の中部経済新聞朝刊に導入先がエマルジョン燃料を導入したことが掲載された。

6月～8月 普及に際して企業の方々から協力いただける状態になってきた。

事業の成果

1年間という期間で、岐阜県をはじめ、東海地区にエマルジョン燃料が知ってもらう機会がメディアや活動によって増えたと感じている。そして、この事業を進めることができた、「はつらつファンド」に感謝しております。

(3) 今後の課題

今後は更なる普及活動や岐阜県内でおこなわれる展示会などで積極的に出展をおこない、エマルジョン燃料の効果を分かり易く表現し認知度を上げることが必要である。また、認知度を上げるためには会として更なる普及に努める。そして、岐阜県環境基本計画にもあるように省エネルギー普及の中でエマルジョン燃料とあるように岐阜県や企業、他のNPOと協力しておこなっていきたい。